

科目名		担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
青年期の心理		高橋 彩	講義	2		2	2	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	この講義では、青年期の身体的発達、感情や思考、人間関係の特徴を理解し、青年期にあたる自分自身への理解を深めることを目的とする。授業で取り上げたテーマについて、自分自身の経験をもとに考察したレポート提出を求める。							
到達目標	①人の発達における青年期特有の心理と行動の特徴を説明できる。 ②青年心理学の理論、概念について説明できる。 ③青年期の心理と行動が、どのように家族関係や社会と関連しているのか理解できる。							
回	学習内容							
1	青年期とは							
2	身体的発達と性（思春期発達、ジェンダー）							
3	青年期の認知（形式的操作、視点取得、道徳性）							
4	青年期の感情（自尊感情、自己嫌悪、劣等感、悩み）							
5	自己意識（私的／公的自己意識、文化と自己、自己意識と臨床）							
6	アイデンティティ（否定的アイデンティティ、アイデンティティ形成プロセス）							
7	親子関係（心理的離乳、自律性、自立、ひきこもり）							
8	友人関係（仲間関係、同調圧力、希薄化）							
9	恋愛関係（恋愛の意識と行動）							
10	教師－生徒関係（日本の特徴、不登校支援、教師への信頼感）							
11	時間的展望（研究動向、時間的態度、臨床実践）							
12	キャリア（キャリア発達、就職活動、若年無業者）							
13	社会参加（ボランティア、政治、地域社会への責任感）							
14	生き方と生きがい（生き方の変化、生きる意味、死生観）							
15	青年期から成人期へ 試験							
予習内容 復習内容	予習：次回のテーマの章を読み、疑問点を整理する。 復習：教科書に掲載されているデータについて、最新のものを調べてみる。							
教科書	テキスト：高坂康雅（編）2018 ノードとしての青年期 ナカニシヤ出版（ISBN978-4-7795-1274-2 2400＋税）							
成績評価	試験 40％と授業内の課題レポート 60％で評価する。							
実務経験								
その他 特記事項								